

uehara
collection

時の結晶 —上原コレクションの40年— 仏教美術



十一面観音像 平安時代 重要美術品

2024
1/20^土 ↓ 4/14^日

会期中無休

開館時間 午前9時30分—午後4時30分(入館は午後4時まで)
入館料 大人1,000円／学生500円／高校生以下無料

* 仏教館・近代館の共通券です
* 団体10名以上は10%割引

東洋と西洋の美の出あい

上原美術館
Uehara Museum of Art

春の訪れ

上原
コレクション
名品選

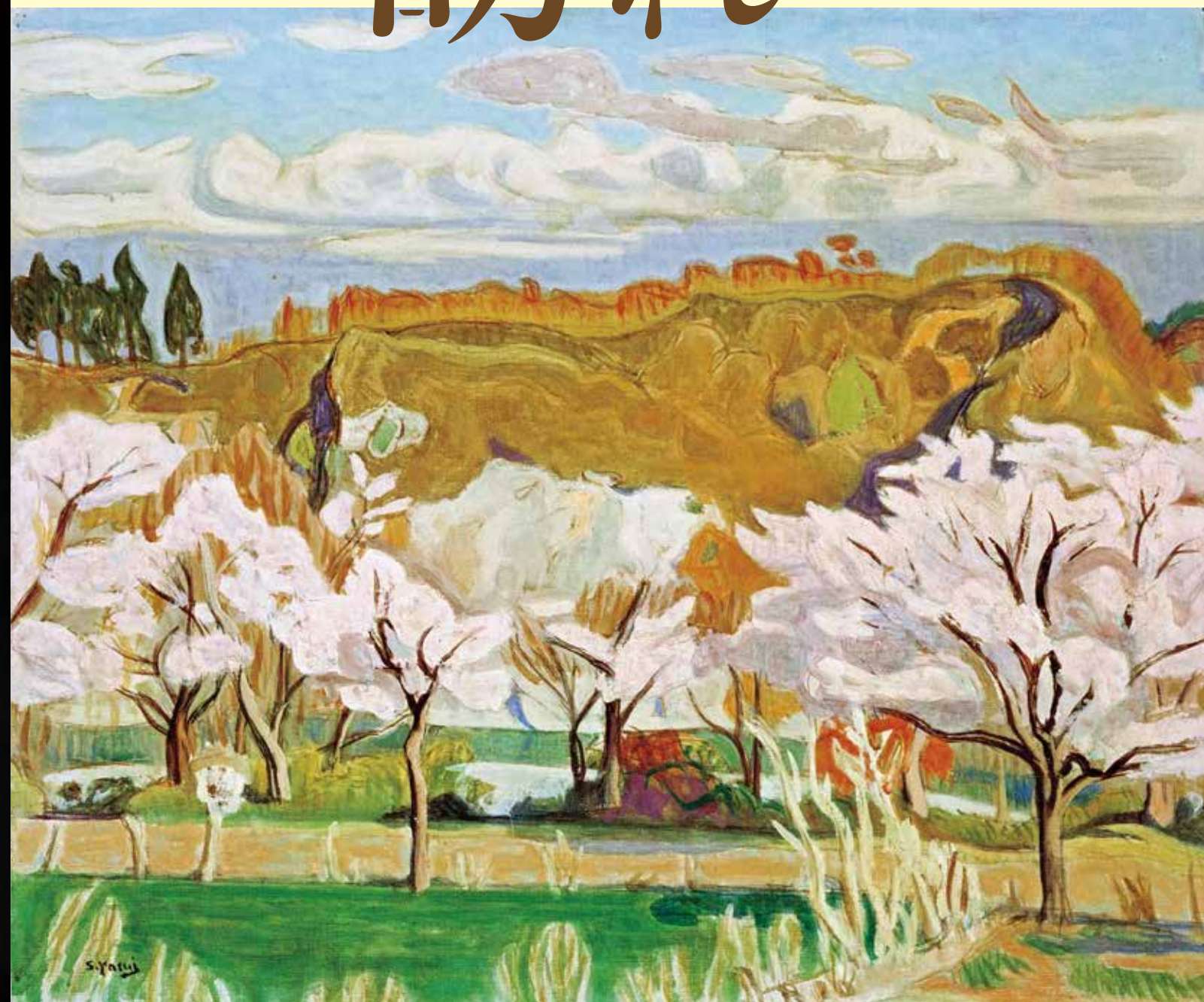
2024

1/20^土 → 4/14^日
会期中無休

開館時間 午前9時30分—午後4時30分
(入館は午後4時まで)

入館料 大人1,000円／学生500円／高校生以下無料
* 仏教館・近代館の共通券です
* 団体10名以上は10%割引

安井曾太郎《桜と鉢形城址》1945(昭和20)年頃



uehara
collection

東洋と西洋の美の出あい

上原美術館
Uehara Museum of Art

春の訪れ

上原
コレクション
名品選

おとず

花の香り、鳥の声、風の肌ざわり。身の回りにある自然は、わたしたちに春の訪れを知らせます。そして、絵の中にもその季節のうつろいが秘められています。

《桜と鉢形城址》は安井曾太郎が第二次世界大戦中、北京から帰って間もなく描かれました。安井は1944（昭和19）年夏、美術展審査のため満州に渡り、北京に立ち寄って制作をします。年末、北京で病に侵された安井は、そこで療養し、翌年3月に帰国。間もなく埼玉県寄居町に疎開しました。そこで描かれたのがこの風景画です。その美しい眺めは、鉢形城址の下を流れる荒川のせせらぎ、鼻をくすぐる春の香り、空を吹き抜ける風の肌ざわりをも想像させます。戦争が続く困難な時代にも季節は流れ、新たな春が訪れます。

本展では近年、新たに収蔵した安井曾太郎《桜と鉢形城址》のほか、伊豆・静浦に吹く冬の西風が春の気配を告げる梅原龍三郎《江ノ浦、残月》、暗がりの中から桜が浮かび上がる須田国太郎《枝垂桜》と横山大観《夜桜》、あたたかな季節の香りを感じさせるピサロ《エラニーの牧場》やモネ《葉ぶき屋根の家》など、春の訪れを感じさせる絵画をご紹介します。上原コレクションより、新たな季節の訪れをお楽しみください。



カミーユ・ピサロ 《エラニーの牧場》1885年



須田国太郎 《枝垂桜》1953（昭和28）年



クロード・モネ 《葉ぶき屋根の家》1879年



梅原龍三郎 《江ノ浦、残月》1936（昭和11）年



横山大観 《夜桜》1947（昭和22）年



アンリ・マティス 《シャルル・ドルレアン詩集》1950年



諸尊図像集断簡 鎌倉時代後期 ※新収蔵・初公開



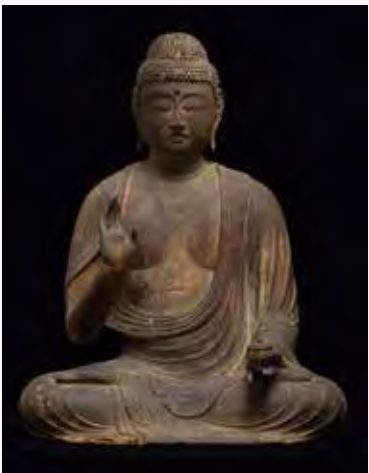
妙法蓮華経 巻五（平基親願経） 平安時代（治承4〔1180〕年）



阿毘達磨俱舍論 巻第二十六（中尊寺経） 平安時代後期 重要美術品



阿弥陀如来像 鎌倉時代



薬師如来像 平安末～鎌倉時代初期

学芸員による 作品解説

日時：会期中の第3土曜日
10時～（近代館）／11時～（仏教館） ※所要約60分
会場：上原美術館展示室
参加方法：当日、展示室にお集まりください
※予約不要・ご参加には入館券が必要です

時の結晶

—上原コレクションの40年—

仏教美術は、仏教を核に、風土と文化、祈りが長い時をかけて生み出した、美の結晶です。一方、星の数ほど存在するモノの中から選り抜かれたコレクションも、独自の美意識の結晶といえるでしょう。本展は、上原コレクションの名品を通じて、上原美術館の四〇年に渡る収集の軌跡を振り返るものです。当館の前身、上原仏教美術館が初めて収蔵した古美術は、平成元（一九八九）年収蔵の、十一面観音像でした。本像は今から千年以上前に造像された古像。しっかりとした鼻筋と、目尻の上がつた目は、どこか異国的で、若々しく強い意志を感じさせる顔立ちです。

その後、当館は、村上華岳や平山郁夫の作品を相次いで収蔵しましたが、平成一二（二〇〇〇）年に上原近代美術館が開館すると、近代美術館との差別化の点から、再び古美術が見直されます。転機となったのは、平成一九（二〇〇七）年収蔵の中尊寺経でした。これを機に、当館では古写経の収集を開始し、奈良時代の天平写経や、神護寺経、荒川経な

ど平安時代の装飾経を相次いで収蔵。古写経収集は、当館の収集の一つの柱となりました。平基親願経は当館の古写経コレクションの白眉で、紺地を背景に美麗に彩色された童子が舞う屏絵が美しい作品です。

仏像の収集も継続中です。左写真の鎌倉時代の阿弥陀如来像は、当館の古仏像コレクション第二号。その後も平安時代の薬師如来像、二天像などを収蔵しましたが、制作年代が確定できる仏像が少ない中で、奇しくも同じ文永七（一二七〇）年に造像された阿弥陀如来像と大日如来像を収蔵できたのは、収穫でした。

近年の上原美術館は、古い絵画作品も収蔵しています。「諸尊図像集断簡」は、本年度新収蔵作品。鎌倉時代の密教図像集の、不動明王に従う八大童子を描いた部分の断簡です。鎌倉時代に北条実時が設立した金沢文庫伝来の貴重な作品で、梅原龍三郎の旧蔵品でもあります。上原美術館の四〇年に渡る収集の「結晶」を是非ご覧ください。

- お車で 新東名高速道路 長泉沼津ICより下田方面へ 1時間40分
- 鉄道・ 東京駅より特急踊り子号 2時間40分 伊豆急下田駅下車
- バスで 同駅より堂ヶ島方面行バス 20分 相玉下車 徒歩15分

東洋と西洋の美の出あい
上原美術館
Uehara Museum of Art
〒413-0715 静岡県下田市宇土金341
Tel. 0558-28-1228 www.uehara-museum.or.jp

